



やとやま さとやま

谷戸山里山

四季だより

2005年 6月号



発行：(財) 神奈川県公園協会 県立座間谷戸山公園管理事務所 / 〒228-0024 座間市入谷3-5994 電話046-257-8388 ファックス046-257-8533

“ヨシ？ or アシ？” それが問題だ

地味だけど
谷戸山には
なくてはならない
植物です

.....
気温も上がり水が恋しい季節になってきま
した。谷戸山では、人と水辺の生き物たちと
ふれあえる湿生生態園では、さまざまな生き
物が元気に生活しています。今回はその生き
物たちを支えている谷戸山には必須の植物「ヨ
シ(葦)、アシ」を取り上げてみましょう。
.....



ヨシの穂：8～10月頃



生き物たちとヨシの関係

- シェルター：メダカやヨシノボリ、ギンブナ、スジエビなどは、アメリカザリガニやミシシippアカミミガメなどから身を守るために、水中のヨシの茂みに身を隠します。
- 産卵場所：メダカは卵を産みつけるのにヨシなどの水草がないと産卵ができません。また、秋にはヨシの茎の目の高さくらいの場所にオオカマキリの卵塊(らんかい)を見かけます。他に、近年水鳥のカイツブリが「水鳥の池」のヨシの群落で産卵しています。
- 越冬場所：メイガなどのガの幼虫が空洞になっているヨシの茎の中で冬越しをしています。
- えさ場：冬になるとシジュウカラは、ヨシの空洞になっている茎の中にいる虫(ガの幼虫など)を探して食べています。冬場のえさのない時期の野鳥の貴重な栄養源になっているのです。また、ヨシの茎に産みつけられたカマキリの卵塊もシジュウカラなどの野鳥のえさになります。ジョロウグモ、トリノフンダマシ、コガネグモ、オナガグモなどのクモの仲間はヨシの茎を利用して網を張り、獲物を待ちかまえています。

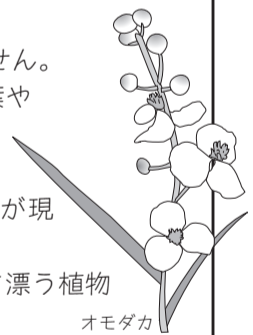
人間とヨシの関係

ヨシは古くから人間生活と密接に関係しています。名前も「ヨシ」と「アシ」は同じ植物を指しており、アシは(悪し)に通じるというので、ヨシ(善し)に言い換えたと言われています。漢字も葦、芦、蘆、葭と多くあります。現在、標準和名は「ヨシ」を使っています。日よけに使われる「よしず」や「つい立て」「しょうじ」などに昔から使われてきています。

ヨシは抽水植物

ヨシは水生植物の中の「抽水(ちゅうすい)植物」と呼ばれる仲間です。根や地下茎が水底にあり、葉や茎が水上に出ます。谷戸山では以下のような水生植物が見られます。

- 抽水植物：根や地下茎が水底にあり、葉や茎が水上に出る植物
ヨシ、ヒメガマ(近年見られません)
- 湿生植物：湿った地面に生育する植物
サンカクイ、ミゾソバ、オモダカ、キシヨウブ
- ふよう
浮葉植物：根や地下茎が水底にあり、葉を水面に浮かべる植物
現在谷戸山では見られません。
- ちんすい
沈水植物：根や地下茎が水底にあり、葉や茎が水面に出ない植物
谷戸山では過去にはエビモ、マツモが生育していましたが現在は見られません。
- ふひよう
浮漂植物：根が水底になく、葉が水面を漂う植物
アオウキクサ



ヨシは自然の浄化槽？

- ヨシの多く茂った群落「ヨシ原」には3つのはたらきがあります。
- 水の流れを弱め、水の汚れを沈めるはたらきがあります。
 - ヨシの根が水中のリンやちっ素を養分として吸収するはたらきがあります。
 - ヨシの水中の茎について生活する微生物が水の汚れを分解するはたらきがあります。
- よって、ヨシは水中のちっ素やリンを吸収し、水の浄化を行います。また「ヨシ1本で水1トンを浄化する」という説もあります。ヨシだけではなく、水生植物は水中や土壌に含まれる富栄養分(ふえいようぶん)を取り込み、水質の浄化を行っています。

